

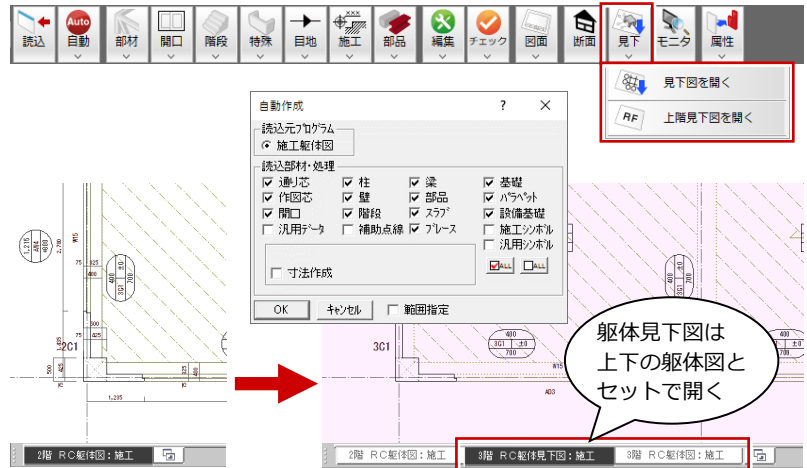
J-BIM 施工図 CAD 2021 の新機能

RC 躯体図

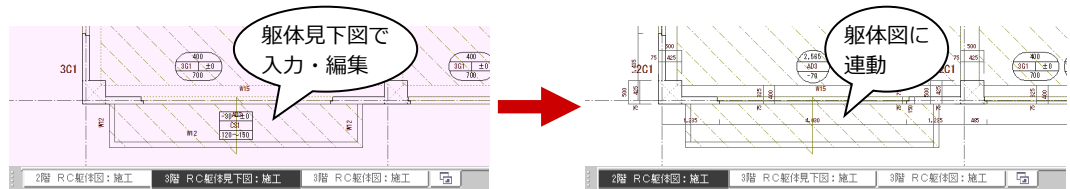
見下入力に対応

RC 躯体図の中に、見下図および上階見下図の作成ステージを追加しました。
見上げでは入力しづかったパラペットや設備基礎などを、伏図のイメージでスムーズに入力できるようになります。
見下図で入力・編集したデータは、その上下階の躯体図と双方向に連動します。

※ データの保存時は、躯体見下図と連携する躯体図も一緒に保存してください。

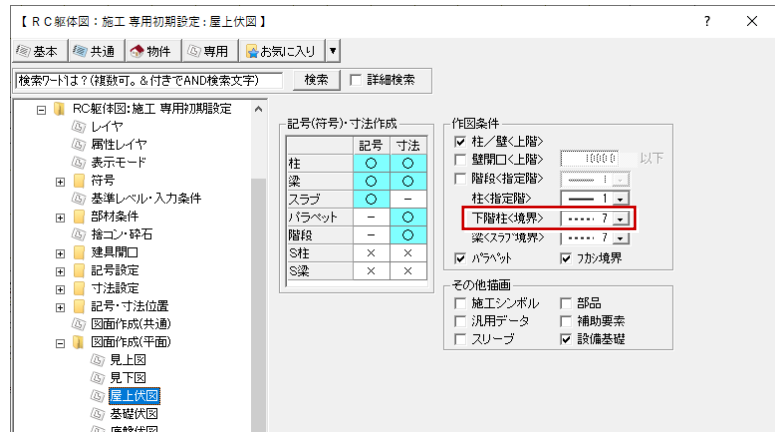
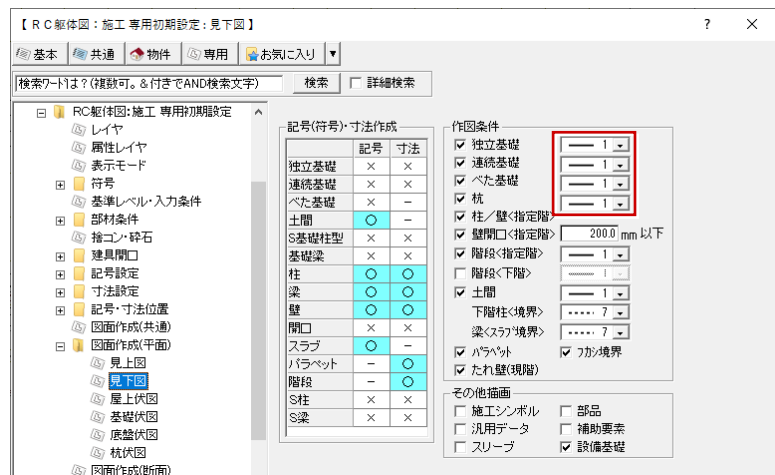


【上階見下図を開く】



線種の指定に対応

見下図の作図条件で、基礎の線種を設定できるようにしました。
また、屋上伏図の作図条件で、下階柱の線種を設定できるようにしました。
作図時の図面表現が向上します。



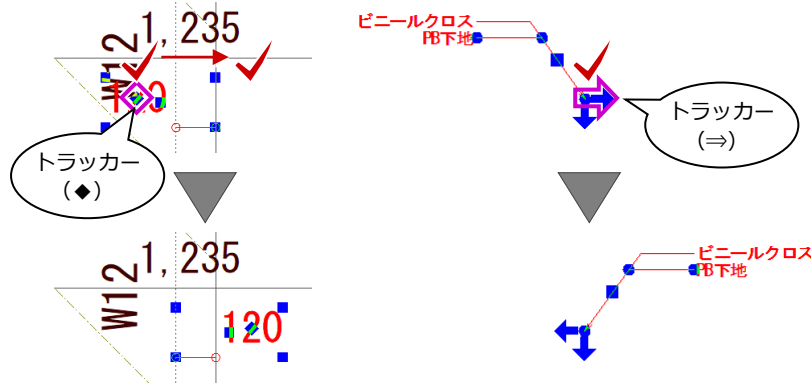
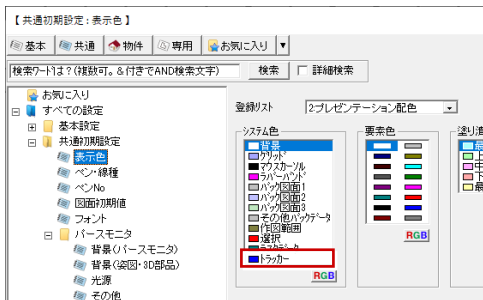
共通

トラッカーの拡張

寸法線の文字移動や引き出し線の反転など、トラッカー機能を拡張しました。

専用コマンドを選ばなくても、直感的な編集が可能になります。

※「共通初期設定：表示色」でトラッカーの色を変更できます。



寸法文字の中心に表示されるトラッカー (◆) をクリックすると、寸法文字を移動できます。

引き出し線の先端に表示されるトラッカーをクリックすると、矢印方向に反転できます。

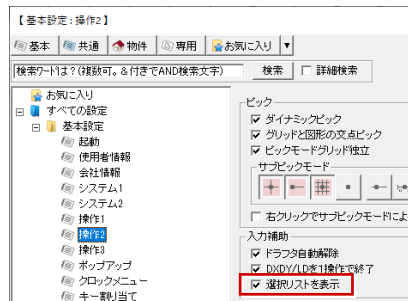
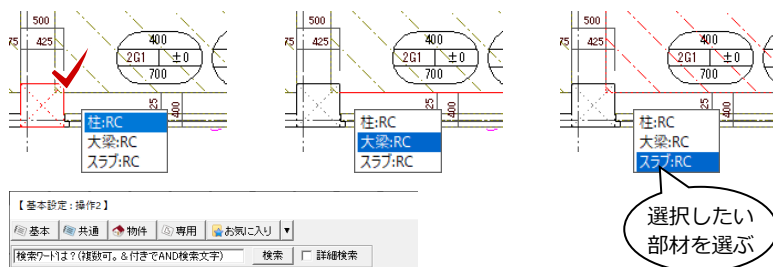
重複データ選択時の操作改良

部材が重複しているところを選択したときに、選択候補リストを表示して、目的の部材を指定できるようにしました。

別の部材が選択されて、選択しなおす必要がなくなります。

※ 操作モードが「要素範囲」「要素」のときのみに有効です。

※ 「基本設定：操作 2」の「選択リストを表示」が ON になっている必要があります。

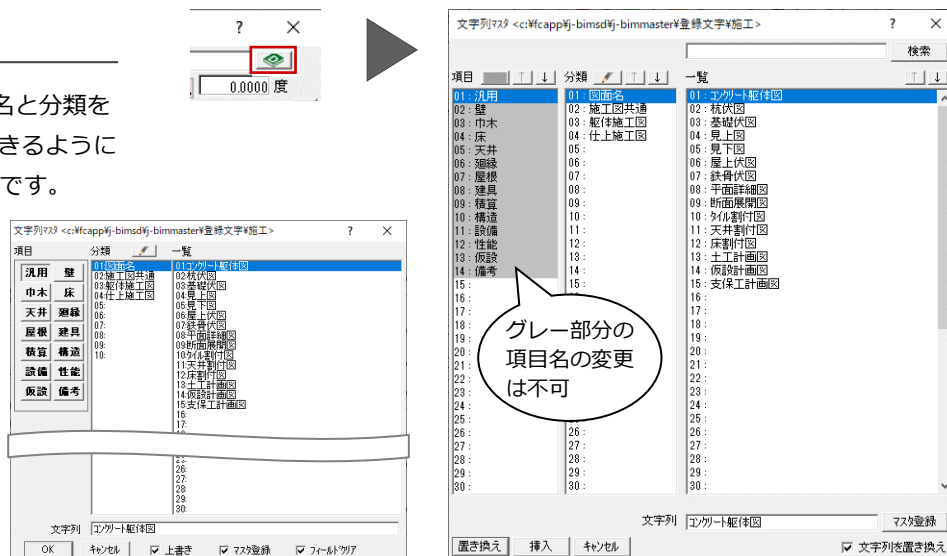


文字列マスタの改良

文字列マスタの UI を改良し、項目名と分類を 30 件まで、一覧を 50 件まで追加できるようにしました。並び順の入れ替えも可能です。

また、検索機能を追加して探しやすくしました。

編集の手間が軽減し、マスタに登録されている文字列が選びやすくなります。



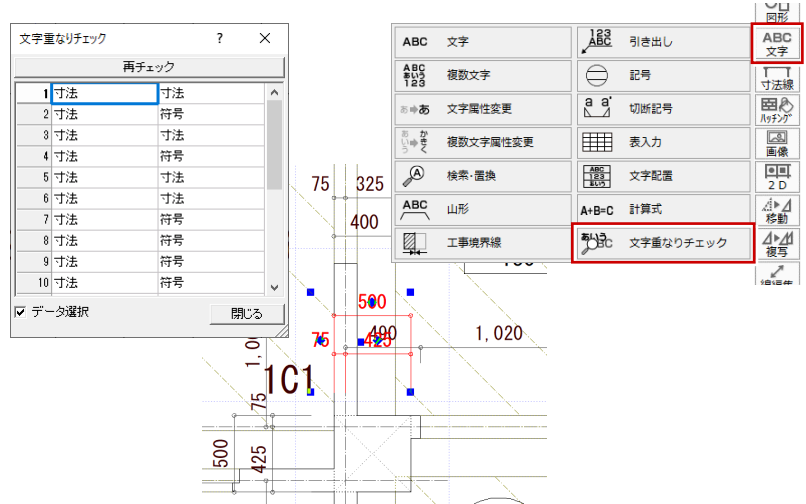
【従来】

【2021】

汎用

文字・寸法の重なりチェック

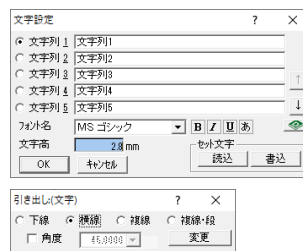
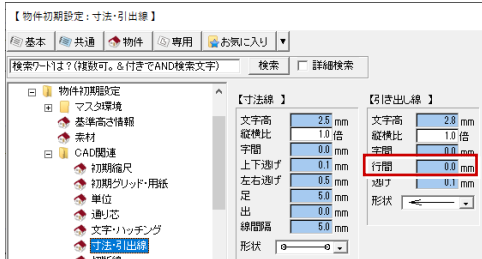
図面内で文字の重複を検出し、重複箇所をお知らせする機能を実装しました。
 文字列が重なって配置されている箇所がリストアップされ、リストを選択すると対象要素が選択状態になって拡大表示されるので、移動や削除などの修正がスムーズに行えます。
 印刷する前に、文字の重なりをチェックすることで印刷し直しの手間を軽減します。



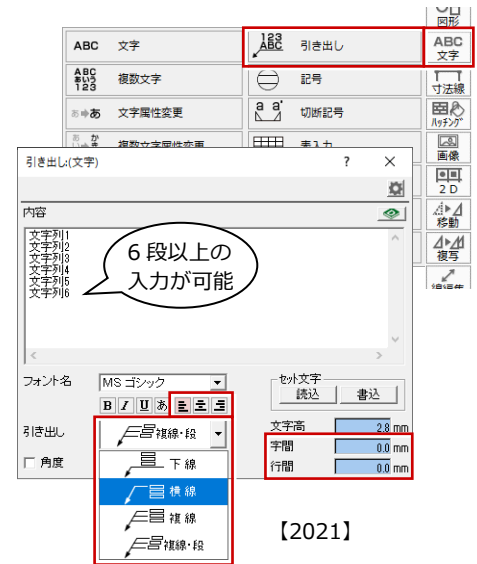
引き出し線の改良

引き出し線の6段以上の入力や、字間・行間の設定、文字位置の選択に対応しました。
 自由度の高い引き出し線の入力が可能になり、入力の手間が削減できます。

※「物件初期設定：寸法・引出線」に「行間」の設定が追加されました。



【従来】

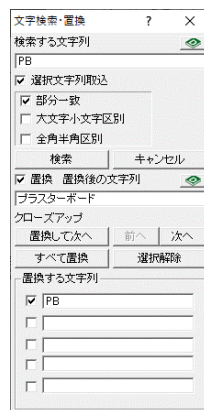


【2021】

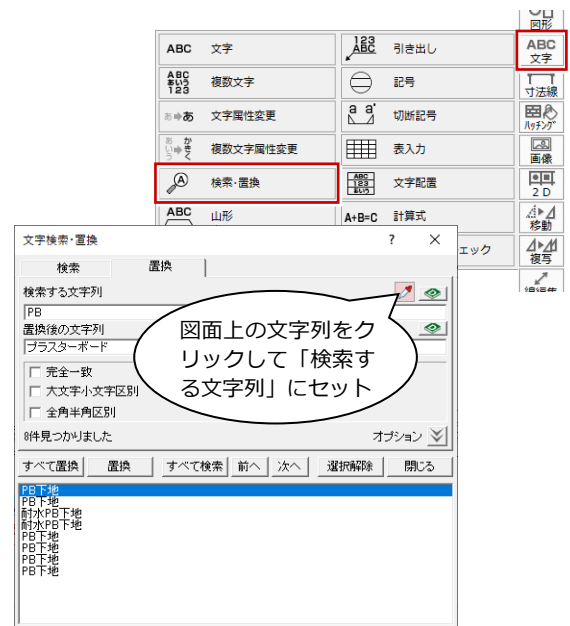
検索・置換の改良

「文字検索・置換」ダイアログのUIを見直し、一般的な検索・置換画面のインターフェースに合わせました。

慣れていない方でも使いやすくなります。



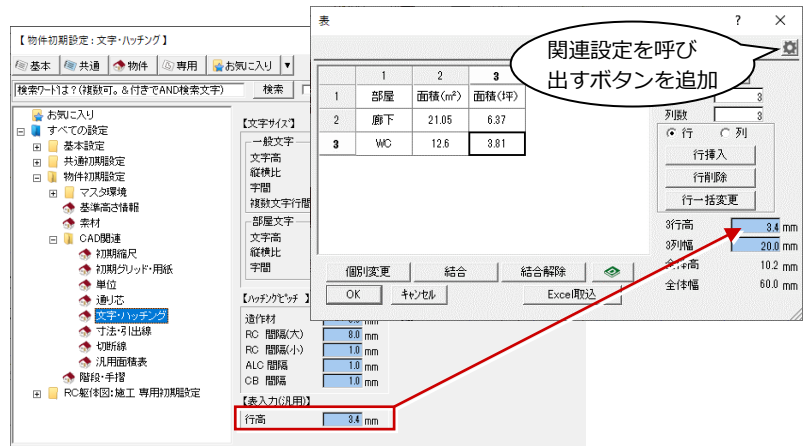
【従来】



【2021】

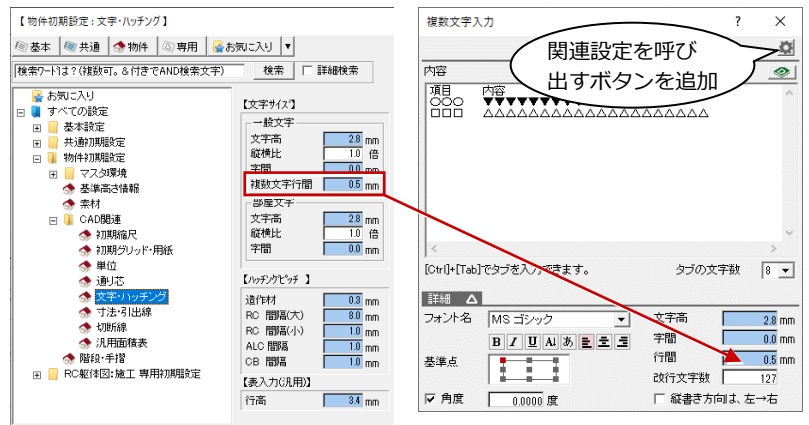
表の行高の初期値追加

「物件初期設定：文字・ハッチング」に汎用の表の「行高」の設定を追加し、1行の高さの初期値を任意で変更できるようにしました。表を編集する手間の軽減につながります。



複数文字の行間の初期値追加

「物件初期設定：文字・ハッチング」に「複数文字行間」の設定を追加し、複数文字列の行間の初期値を設定できるようにしました。文字列の表現が向上します。



QRコード作成に対応

QRコードの画像を作成できるようにしました。

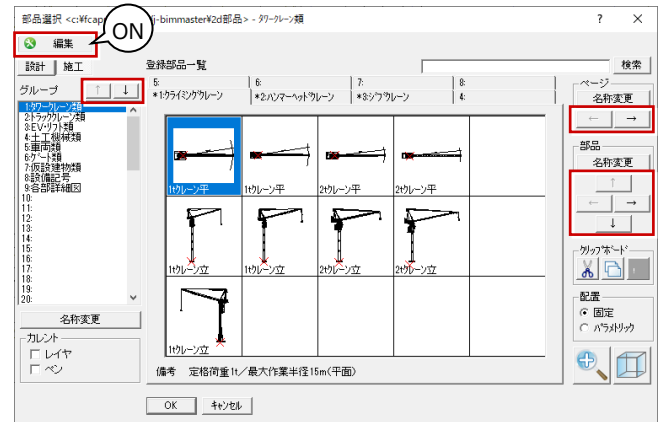
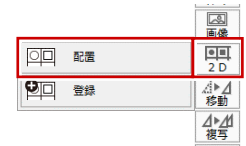
図面からパノラマ画像を呼び出したり、会社のWebサイトを呼び出せるQRコードが簡単に作成できます。

※ QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



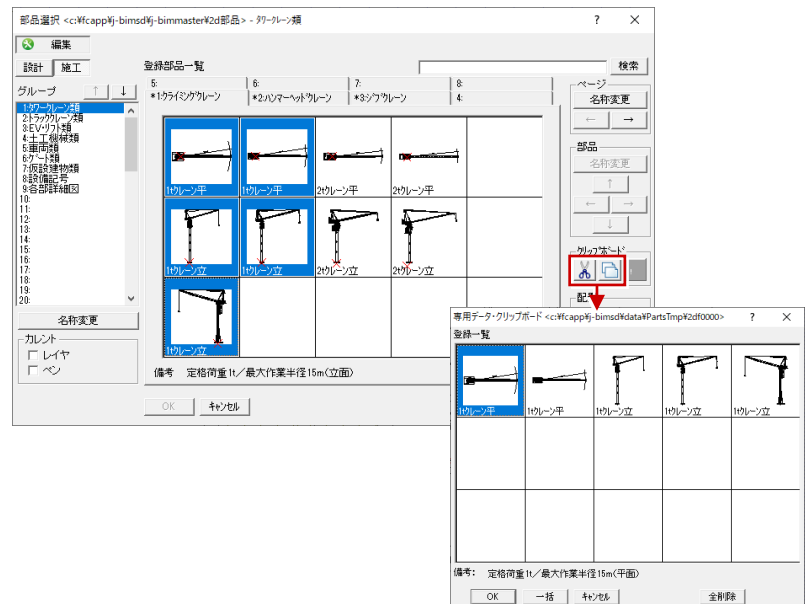
2D 部品の編集モードを追加

2D 部品配置時のダイアログに「編集」ボタンを追加し、グループとページの順番を入れ替えられるようにしました。また、部品の登録位置の移動も簡単にできるようになりました。使用頻度の高いものを上位に移動するなど操作性が良くなります。



複数の部品をクリップボードへ

Ctrl+セル選択や Shift+セル選択で 2D 部品を複数選択して、クリップボードへのコピー、切り取りをできるようにしました。個別に選択可能になり、操作性がよくなりました。



汎用図面

JWW エクスポートのファイル名

汎用図面からの JWW エクスポートで、作成される JWW ファイルの命名ルールを変更しました。

- ・ 図枠があり図枠項目の図面名が入っているとき ⇒ 「図枠項目の図面名.jww」（従来通り）
- ・ 図枠がないときや、図枠はあるが図枠項目の図面名がないとき ⇒ 「汎用図面の図面名.jww」（従来は「図面O.jww」で、Oはプログラム起動後に汎用図面を開いた回数）



【従来】

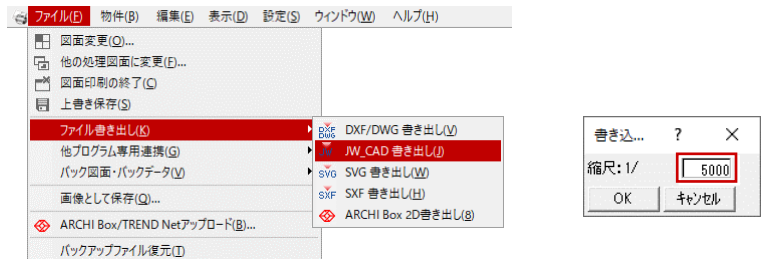


【2021】

図面印刷

JW_CAD 書き込み縮尺の拡張

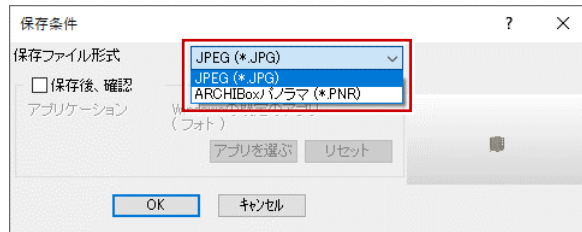
図面印刷からの JW_CAD 書き出しで、書き込み縮尺を 1/5000 までに拡張しました。
この拡張により、大きな図面の書き出しもできるようになります。



パーススタジオ

パノラマ画像の JPEG 保存

パノラマ画像を作成したときに JPEG ファイルとしても保存できるようにしました。
パノラマの情報が埋め込まれているため、JPEG ファイルをそのまま LINE や Facebook にアップロードして閲覧が可能です。



SketchUp 2020 対応

SketchUp データ取り込みで、SketchUp2020 のファイルに対応しました。
※ 64 ビット版のみの対応で、32 ビット版は 2016 までです。

